

「はなやまんまる☆キャンプ☆アドバンス②」

1. 趣旨

東日本大震災を経験した沿岸部地域に在住する児童の心身の健康、リフレッシュを図るために、冬季における自然体験の機会を提供し、復興への前向きな姿勢につなげる。

2. 事業の概要

(1) 期日 平成28年1月7日(土)～1月9日(月)〔2泊3日〕

(2) 参加者

①参加対象及び人数

宮城県沿岸部(石巻市・気仙沼市・南三陸町)に在住の小学校4～6年生 50名

②参加状況

学年	男子	女子	合計
小学校4年生	8	24	32
小学校5年生	6	15	21
小学校6年生	18	30	48
合計	32	69	101

3. 企画運営のポイント

- ①参加者は沿岸部の雪のない地域の子どものため、雪上体験を多く取り入れたプログラムとする。
- ②応募者が予定の倍となったため、安全管理を徹底するとともに、グループを基盤とした生活を送ることができるようにする。

4. 日程

	午前	午後	夜間
1月7日(土)	受付	雪遊び(そり、チューブ滑り、雪像づくりなど)	スキー合わせ 靴合わせ
1月8日(日)	歩くスキー体験	雪遊び(そり、チューブ滑り、雪像づくりなど)	防災まんま リンピック
1月9日(月)	モダンテクニックで新年のカレンダーづくり	閉会	

5. 主な活動内容



1日目「雪遊び」



2日目「歩くスキー体験」



2日目「まんまリンピック」
寝袋たたみ競争 他



3日目「クラフト活動」
～モダンテクニックでの
新年のカレンダーづくり～

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：83.2% やや満足：16.8% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・このようなイベントがたくさんあったらいいなと思った。
- ・他の学校の子と仲良くすることができたし、とっても楽しい3日間でした。
- ・友達ができたので、また来たいと思いました。
- ・友達と一緒に過ごして、親がいないとたいへんだなと思いました。
- ・何でも自分でやるのがすごくたいへんで、お母さんの気持ちがよくわかりました。
- ・わかりやすいし、楽しくておもしろいことを優しく教えてくれた。
- ・とても楽しくて最高の思い出になりました。
- ・友達は大切だと思った。生活のリズムがくずれないなと思った。

(3) 成果

- ①沿岸部の子どもたちが普段体験できない雪上体験を十分に行うことができた。雪上でそり、チューブに乗ったり、スキーで滑ったりしたことが子どもたちのリフレッシュとなった。
- ②予想以上の反響で、多くの子どもたちがさまざまな学校から参加することで、子どもたちにとって新しい出会いの場が増える結果となった。

(4) 課題

- ①雪不足のためキャンプ中の雪上体験プログラム実施が危ぶまれた。実施時期も含め、雪がない場合のプログラムを検討していく必要がある。
- ②参加者が多く集まった場合、スタッフの人数を増やし多くの目で子どもたちを見るなど、今後も安全管理には十分配慮する必要がある。
- ③12月に実施した宮城県沿岸部対象事業とともに、対象地域をどのように選定するか検討する必要がある。現時点では、12月の事業を含めても宮城県沿岸部を網羅できていない。

担当：企画指導専門職 佐々木 正輝